



# 令和8年度の消防研究センター等における 一般公開のお知らせ

消防研究センター

消防大学校

日本消防検定協会

一般財団法人消防防災科学センター

消防研究センター、消防大学校、日本消防検定協会及び一般財団法人消防防災科学センターでは、令和8年度の科学技術週間にあたり、研究開発や消防用機械器具の紹介等を目的として一般公開を行います。

令和8年度も、令和7年度と同様に実開催（敷地内の施設の公開や実演等）と動画公開の両方を実施します。

なお、これらの内容については消防研究センターホームページにて最新情報のご確認をお願いいたします。

## 1 実開催

### (1) 日時

令和8年4月17日（金）

10：00～16：00（入場無料）

### (2) 場所（受付：消防研究センター本館）

ア 消防研究センター、消防大学校

（東京都調布市深大寺東町4-35-3）

イ 日本消防検定協会

（東京都調布市深大寺東町4-35-16）

※ア及びイは同一敷地内にあります。

### (3) 実開催で予定している公開内容

水陸両用バギー、石油タンクの安全性に関する研究開発の紹介、原因調査室の業務紹介、住宅用消火器による消火実演、消火器の操作体験、並びに住宅用防災警報器の展示及び実演等、消防大学校の教育訓練資機材、避難所HUG(風水害版)、消防力適正配置等調査、近年起きた災害等の被害や災害対応の状況を写真などで紹介

### (4) 交通機関

ア JR中央線吉祥寺駅南口から バス約20分

（6番乗り場）吉04「深大寺」「野ヶ谷」、吉05「調布駅北口」行き〔消防大学前〕下車

イ JR中央線三鷹駅南口から バス約20分

（8番乗り場）鷹55「野ヶ谷」行き〔消防大学前〕下車  
（7番乗り場）鷹61「調布駅北口」、鷹62「晃華学園東」行き〔中原三丁目〕下車徒歩5分

ウ 京王線調布駅北口から バス約20～25分

（11番乗り場）鷹61「三鷹駅」行き〔中原三丁目〕下車徒歩5分

（12番乗り場）吉05「吉祥寺駅<野ヶ谷経由>」行き〔消防大学前〕下車

## 2 動画公開（予定）

### (1) 日時

令和8年4月10日（金）10：00

～4月20日（月）16：00

### (2) 開催ページ（アクセスURL）

消防研究センターホームページ

（<http://nrifd.fdma.go.jp/>）

「消防研究センター一般公開」

でも検索できます。



### (3) 予定している動画公開内容

【消防研究センター、消防大学校】

大型石油タンクの地震時底板浮き上がり応答解析、高発泡装置を用いた泡消火実演、ウレタン火災の危険性、消防大学校での教育訓練（ホットトレーニング）

【日本消防検定協会】

検定制度と検定の方法、検定品目の紹介、受託評価業務の紹介、型式試験（感知器、受信機、金属製避難はしご、緩降機）

【消防防災科学センター】

過去の災害から学ぶ（災害対応を体験した市町村長等の体験談）、防災訓練を学ぶ（各地で取り組まれている防災訓練の様子・防災図上訓練の解説）、災害基礎知識、被災者支援、防災紙芝居

## 3 問い合わせ先

■消防研究センター 企画企画部

電話 0422-44-8331（代表）

ホームページ <https://nrifd.fdma.go.jp/>

■消防大学校 教務部

電話 0422-46-1712（直通）

ホームページ <https://fdmc.fdma.go.jp/>

■日本消防検定協会 企画研究部情報管理課

電話 0422-44-7471（代表）

ホームページ <https://www.jfeii.or.jp/>

■一般財団法人消防防災科学センター 総務部

電話 0422-49-1113（代表）

ホームページ <https://www.isad.or.jp/>



前回の実開催の様子



軽油の燃烧実験  
[消防研究センター]



住宅用消火器の消火実演(天ぷら油火災の消火)  
[日本消防検定協会]



一般公開動画  
[消防大学校]



消防力適正配置等調査  
[(一財)消防防災科学センター]

前回のオンライン開催状況

消防研究センターホームページ

<https://nrifd.fdma.go.jp/>

Search bar with the text "消防研究センター一般公開" and a "検索" (Search) button.



Screenshot of the National Research Institute of Fire and Disaster website showing the online event schedule for the 7th year of the Reiwa era. It includes details for online and in-person events, a list of topics, and navigation buttons for various sections like 'Research Activities' and 'Publications'.